

平成 28 年 6 月 3 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（6 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、沖津、片桐、木村、古池、葉木、森、若笠、事務局天寺
澤野委員長、森村会長補佐（推進委員会からの出席）

1. 濱田代表理事 挨拶

43人が犠牲となった長崎県の雲仙・普賢岳の大火砕流から3日で25年となります。ここ数年、どこで噴火が起こるかわかりません。私のマンションから箱根の大涌谷の噴煙が日によって見えることもあります。そういう意味では、まだ活動は続いています。それでも火山は予兆があると云われています。予兆のない災害は「地震」と「テロ」だと思います。「テロ」はともかく、「地震」に関して我々は、首都直下地震に備えて平時から活動し「こんなこともできていなかったのか」ということにならないよう、地道に行政とつながり、仲間を作り、地域で活動していくことを目指してほしいと思います

6月の全体ミーティングの際には参加者とともに首都直下地震に備えるためのSL活動の方向性などを共有していきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会議事」のとおり。

- ・ 埼玉県ネットが5/24に発足した。代表の若笠SLを地域選出の運営委員とすることで、委員全員の了承を得た。
> 若笠SLから自己紹介と埼玉県ネット発足の報告。
- ・ 非常用炊き出し袋の在庫が残り17パック（本部在庫）となっている。現在、第3次発注をしている。原価については、印刷費や外袋の価格を抑え、これまでよりも安くなる予定。6月20日以降に納品予定で、7月1日に新価格を発表できる。
- ・ 熊本地震「応援缶バッチ」の頒布について。現在、2種類（白色と紫色）の缶バッチを300円～で頒布している。この売り上げから原価と手数料を引いた金額を全額公社SLネットを通じて熊本県へ義援金として送る活動を5月14日から始めた。運用と在庫管理等はZSVNに委託し、義援金送金を社団で受ける。問い合わせはZSVNへ30個1セットから頒布する。
- ・ 熊本地震へ天寺常務理事が4月28日から5月25日まで第4期にわたり職員派遣されていた。活動内容は、生活再建支援業務の行政支援。
- ・ 6月26日（日）全体ミーティングの進行や役割分担については、運営委員には後日メールにて詳細をご連絡する。

4. 各地域の活動報告

<千葉県>

- ▶ 県ネット・船橋ネット（片桐）

- ・ 千葉県ネットでは、春季合同防災訓練を 5/21 に市川市民キャンプ場にて実施。21 名参加。持ち寄り食材の炊飯と三角テントの設営をみっちりに行った。
- ・ 九都県市合同防災訓練千葉県会場の第 2 回全体会議が 7/7 に予定されている。
- ・ 6/18 船橋市国際交流協会主催の外国人合同研修を西武防災センターにて予定。
- ・ 6/29 防災会議に出席。8 月防災訓練の会議。80 弱の小中学校にて防災訓練。エリアごとに障がい者訓練、土砂災害を想定した訓練などそれぞれにテーマを決めて、訓練を実施予定。SL は障がい者訓練に参加予定。
- ・ 船橋市職員で防災士を有する職員研修を 6/30 実施する。内容は目黒巻き。

▶ 流山野田ネット

- ・ 6/18 流山市生涯学習センターで定例会を実施予定。活動報告と情報交換を予定している。

▶ 市浦ネット（木村）:

- ・ 22 日に市浦ネット会合。参加者 3 名だったのでフランクに話せた。

<神奈川>

▶ 神奈川県（森）

- ・ 神奈川県教育庁主催の DIG 講師斡旋希望校 25 校が出揃った。それぞれに講師とファシリテーターを募集しているが、なかなか集まらないので、協力してほしい。
- ・ 教員 DIG 研修を 6/20, 6/27, 28 で実施。これは高校の防災担当教員向けの研修で 3 時間しっかりと DIG を実施する。
- ・ 5 年経験者研修を来年 1 月に 4 日間の日程で実施する。小中高校生の 5 年目の教員を対象とし、DIG 体験研修を実施予定。
- ・ 5/14 防災ギャザリングを実施した。今回は子供向けプログラムを多く入れたので好評であった。横浜市では地域防災拠点に炊飯機が配備されている。
- ・ 6/4 温泉地学研究所 万年主任研究員による「富士山噴火と神奈川の被害の歴史」の講演会
- ・ 6/12 西湘ネット主催「神奈川県西部の断層と神奈川の歴史を学ぶ」研修会。

▶ 座間市（濱田）

- ・ 愛川町の石田安秀 SL が逝去。
- ・ 6/12 県央ネット結成会を予定している。
- ・ 5/20 座間市長が自治体総合フェアにて講演。深化する座間市。職員採用方針も変える。
- ・ 東日本震災遺構・復興地見学ツアーを企画。今年で 4 年目だが今年もやる。今年から共募が地域の災害ボランティアネットワークにも助成金を出すことになった。ただし、社協の裏付けが必要。
- ・ 熊本地震の影響で、幼稚園・小中高校からの依頼が増えた。地道に活動を続けていきたい。

▶ 湘南ネット

- ・ 第 3 回 SL 湘南ネット研修会にて「大災害時のトイレを考えよう～自宅でのトイレは～」を実施。自宅でのトイレとその始末についてグループワーク形式で実施した。また終了後にはアンケートを取り、今後のネット活動の参考にしたい。
- ・ 平成 28 年度のスケジュール年 4 回程度の定例会を計画。2 月には総会に合わせて「災害食を考える」ワークショップも検討している。

▶ 横浜市（沖津） 別途資料を参照

- ・ 5/14 よこはま防災ギャザリング 2016 に 15 名参加。
- ・ 5/17 よこはまネット運営委員会を開催。防災ギャザリングの反省と今後の活動について
- ・ 6/4 野毛地区センターで「炊き出し袋を使って災害食の実習」を予定。
- ・ 7月運営委員会を開催予定。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会... 障害者の避難所運営をどうするか、障がい者のグループホームの施設長をしている藤岡 SL から経験談を聞いた。6月 は全体ミーティングに代える
- ▶ 情報部会... 中島 SL (船山株式会社) による最新の防災用品について。6月 は全体ミーティングに代える。
- ▶ 応急部会... 「災害時の水について」参加者で考えた。6/16 水島 SL による自治会活動についての話。

【次回の開催日】 7月1日(金) 13時30分～

2016年5月の事業報告と今後の予定

(6月3日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・ 沖縄、女性死体遺棄事件 5/19 沖縄の心情
- ・ 伊勢志摩サミット 5/26-27 政治利用
- ・ オバマ大統領の広島訪問 5/27 政治に理念大切
- ・ 首相、消費税 10%再延期発表 6/1 政治利用

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度 5 強以上, M6.5 以上、首都圏は震度 4 以上)

- ・ 5/16 21:23 震源 茨城県南部 M5.5、深さ 42 km、震度 5 弱 小美玉市
- ・ 熊本地震(5/31 の 24 時まで) 震度 1 以上 1613 回
震度 7 は 2 回, 6 強は 2 回, 6 弱は 3 回, 5 強は 4 回, 5 弱は 7 回, 4 は 88 回

イ 火山

ウ 風水害

オ 事故等

海外 ア 地震(USGC 発表、M7.5 以上又は報道等で犠牲者多数)

イ 自然災害

- ・ 熱波 インド西部 51.0 度(同国史上最高) 5/19
- ・ サクソ バングラディッシュ南部 「ロアヌ」上陸 5/21

ウ 事故等

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- [気象庁] 5/12 エルニーニョ監視速報 夏からラニーニャ現象発生
- [中央防災会議] 5/31 防災基本計画の改定、総合防災訓練大綱の公表
- [国交省関東地方整備局] 5/30 最大規模降雨の洪水浸水想定区域公表

イ 自治体

九都県市合同防災訓練

幹事会場：さいたま市

東京都：葛飾区、千葉県：茂原市、神奈川県：横須賀市、埼玉県：

ウ 被災地状況

(東日本大震災)避難・転居者数(復興庁発表) 16万 0081人 前月比 - 5256人 4/16 現在

(熊本地震)避難所数 187 箇所、避難者数 8231人 5/30

1-4 災害ボランティア等の動き

- ・ 熊本大地震関係 委員長、平田直教授と熊本県被災地訪問 5/14

1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ・ TV [NHK]
- ・ 書籍 新刊

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア 全体的な到達点

- ・ S L 養成数

本部講座 9,097 人 公認講座 2,043 人* 計 11,140 人 3/22 現在
講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策

イ 本部主催の S L 養成事業

ウ 大学等受託の S L 養成事業

- ・ 目白大学講座(公開) ・ 専修大学講座

エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

オ 講座改革

- ・ 認定証の刷新

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 本部受託の事業

ウ 他主催の事業への協力

- ・ [終了]自治体総合フェア講演 5/20 遠藤座間市長 14～、林春男 15～

エ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

- ・ [予定]第 1 回 S L ミーティング 6/26

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

ア 全体的な到達点 2015 年 累計約 527 万人、世界で 4400 万人

イ 重要 気象庁との連携 11 月 4 日 シェイクアウト

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

イ 防災教育普及事業

- ・ [報告]普及協会理事会 5/19
- ・ [予定]総会 6/18
- ・ [宣伝]「防災教育の手引き」頒布中

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・ [各地]学校での防災教育支援

C、被災者生活再建支援事業

- ・ [報告]熊本県での罹災発行業務支援 (天寺)

全壊 5990 半壊 20219 一部損壊 85535 5/30 現在

D、防災研究事業

- ・ [予定]7/15 防災科研 熊本地震報告会

3、事務局等

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

【報告事項】

1. 埼玉県ネットが発足
添付「埼玉ネット立ち上げのための集会」
埼玉県ネット代表 若笠純一 SL (春日部市)
事務局 山中邦久 SL (川口市) 寺田潤一 SL (春日部市)
会計 森井健一 SL (飯能市)

2. 非常用炊出袋の第3次発注と見直し原価について
添付「炊飯袋」原価表

3. 平成 28 年熊本地震 応援缶バッチの状況
添付「平成 28 年熊本地震義援金缶バッチ状況」

4. 平成 28 年熊本地震職員派遣報告
添付「平成 28 年熊本地震 派遣報告書」

5. 第 1 回 SL 全体ミーティング
日時：6 月 26 日 (日) 10 時 00 分～16 時 00 分
会場：TKP 新宿カンファレンスセンター・カンファレンスルーム 4C
内容：SL の今の活動とこれからの活動についてのワークショップ
 - 誰のための活動なのか
 - 何のための活動なのか
 - どのような (手段・方法) の活動なのか
 - 活動の限界はどこか? ... プロは消防・自衛隊。所詮は「ボランティア」という精神
持ち物：筆記用具、SL 制服、昼食、おやつ、名刺 10 枚
運営委員：受付担当など

6. 次回運営委員会
2016 年 7 月 1 日 (金) 13 時 30 分～

以上